

令和3年度 信濃町立信濃小中学校 グランドデザイン

日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領・長野県教育振興基本計画（第3次）・信濃町長期振興計画（第6次）

（第2次信濃町教育大綱 基本理念） 未来を拓く深い豊かな学びの創造

（基本理念）「信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成」～学びに向かう力と温かな人間性の涵養～

学校教育目標
願う児童生徒の姿

躍進
自分自身をみつめ、豊かに生きる児童生徒

本校児童生徒の
よさと伸ばしたい点



重点活動とつける力

自主

自ら求めて学ぶ児童生徒

友愛

命と仲間を大切にする児童生徒

克己

最後までやり抜く児童生徒

○主体的に学び、興味の幅を広げながら社会とつながる力をつけてほしい。
○コロナ禍にあっても、学校生活を豊かにしようとする姿がある。多くの仲間とかわり、積極的に活動してほしい。

○「やりたい」気持ちを大切にし、困難に立ち向かう姿勢を身につけてほしい。

R2年度「学校評価（児童生徒・保護者・教職員）」等の結果より

【重点目標】

すべての子どもが安心して学べる学校づくり～つながり・つなぎ目の充実～（2年次）

学びがつながる ＜楽しさ＞

1 「わかる・できる」授業

子どもが問いや願いをもち、主体的に学びを進める授業や信州型ユニバーサルデザインを基盤とした授業を創ります。

2 「学び・育ち」を活かす支援

子どもと共に「保小接続プログラム」、「しなのスタイル（生活習慣、家庭学習、読書活動、授業の約束等）」を創り、一貫した支援・指導を行います。

3 系統的な学習過程の改善

教科ごと9年間の学習過程を見直し（拡大教科会等）、系統的に児童生徒一人ひとりの学力・体力の向上を図ります。

学びに向かう力

人とつながる ＜優しさ＞

1 異学年交流の充実

初等部生からの発信も大切にし、高等部生が中心となって全校縦割り班で「やさしさ満開プロジェクト」を推進します。

2 児童生徒が輝く「対話」

信頼関係を構築する対話（セレクトスマイルタイム等）を大切し、更に個々が力を伸ばすための支援を全職員で行っていきます。

3 教育的ニーズに応じた支援

子どもを中心に家庭・学校・地域と連携したチーム支援を推進し、学習相談・教育相談等個々の教育的ニーズに応じた支援の充実を図ります。

人とつながる力

社会とつながる ＜嬉しさ＞

1 共に創る学校

願う子どもの姿を地域の方々と共有し、学習支援や教育ボランティアを充実させていきます。

2 SDGs in Shinano

SDGsを基軸とし、生活科・総合的な学習の時間を中心に「ひと・もの・こと」への関わりを広げ、深め、ふるさと信濃町の未来づくりへつなげます。

3 主体的に取り組む部活動

集団として、高い目標に向かい互いに切磋琢磨しながらたくましい自己をつくり上げる活動を行います。

挑戦する力

地域の支え 「学校運営協議会」「しなの学校応援団」「PTA」「しなのホエールズ」

授業支援 行事支援 児童生徒会支援 読書活動支援 部活動・クラブ活動支援 登下校指導支援 環境づくり支援 等

グランドデザイン 評価の観点

学校自己評価における以下の項目で、肯定的に回答する児童生徒の割合を増やします。

- 1 「学校の生活は楽しい」（R2 92%）
- 2 「担任（教科）の先生の授業はわかりやすい」（R2 92%）
- 3 「努力していること・がんばっていることを認めてもらえる仲間や先生がいる」（R2 88%）
- 4 「授業では『知りたい』『やってみたい』『できるようになりたい』と感じる」（R2 90%）



* 年2回の学校自己評価（7月 児童生徒・保護者・教職員が対象、12月 児童生徒が対象）を行います。その結果を教育課程編成プロジェクト、児童生徒会、学校運営協議会等で検証し、次年度の方向を決定していきます。